



2025年4月24日

各位

会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 高田 和彦
(コード番号5911 東証プライム)
問合せ先 執行役員財務IR室長 中岡 康次
(TEL 03-3453-4116)

業績予想の修正に関するお知らせ

2025年1月29日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日~2025年3月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	160,000	13,000	12,700	10,000	246.48
今回修正予想(B)	159,300	16,600	16,200	12,800	315.57
増減額(B-A)	△700	3,600	3,500	2,800	—
増減率(%)	△0.4	27.7	27.6	28.0	—
(ご参考)前年同期実績 (2024年3月期)	164,076	15,946	15,857	11,854	291.16

2. 修正の理由

橋梁事業の受注につきましては下半期で伸び悩み、年度計画には届かず2024年3月期並みの水準に止まりました。一方、2025年3月期の橋梁事業の業績につきましては設計変更の獲得が「翌期予定からの前倒し」、「サブJV工事での変更」も含めて想定以上に重なり、加えて新規受注による工事損失引当金の計上が想定を下回ったことで採算が大きく改善しました。

また、エンジニアリング関連事業につきましては第4四半期におけるシステム建築事業の落ち込みは小幅に止まり、土木関連事業と建築・機械鉄構事業では設計変更等による損益の改善がありました。

さらに、年度末にかけての金利動向を反映し上昇した割引率で算定される退職給付債務の減少が、全事業の利益を押し上げる形となりました。以上のことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高の水準になる見込みとなりました。配当予想については従来予想から変更ありません。

なお、2026年3月期の業績につきましては減益見込みとなりますが、従来の累進配当の方針を踏まえて増配継続を予定しております。詳しくは5月14日の2025年3月期決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上